

令和2年度一般社団法人全国避難設備工業会第3回理事会議事録

1. 日時 令和3年3月24日（水） 13時25分～14時48分
2. 場所 東京都港区西新橋一丁目6番15号 NS虎ノ門ビル AP虎ノ門
3. 役員現在数 11名（うち監事2名）
4. 出席者 9名（うち監事2名）
菊池信会長、齊田啓子副会長、生貝英樹常務理事
重盛弘子理事、上田勝也理事、佐藤康雄理事、富岡陽理事
前田善衛監事、小池秀樹監事
欠席 吉池達郎理事、喜田大輔理事

5. 議事の経過

- (1) 開会
13時25分 開会宣言
- (2) 菊池工業会会長より挨拶
本日開催の理事会の趣旨について
- (3) 事務局職員の紹介
12月から着任した鈴木事務局員の紹介及び本人の挨拶があった。
- (4) 理事の出席状況報告
出席者数が定款第34条の定足数を満たし理事会が成立していること、吉池理事、喜田理事の欠席の報告
- (5) 定款第33条により、菊池会長が議長となり、議事に入った。

6. 議案の内容及び議決結果

第1号議案 定款第25条第5項の規定に基づく業務執行状況の報告について

生貝常務理事から、資料1を用いて令和2年度事業執行状況及び収支状況について説明があった。事業報告については諸行事の中止についての報告など、収支計算書については、コロナ禍により収入面が落ち込んだ点や各行事の中止による支出面減少等、内容について詳しく説明され、報告がなされた。質疑応答では特別に質問はなく、定款第25条第5項に基づく報告があったものとして、承認された。

第2号議案 令和3年度事業計画書案について

事務局から、資料2を用いて令和3年度事業計画書案について説明があった。計画書案には各種申請のオンライン化の取り組みや情報発信の強化などが盛り込まれ、それぞれの内容について詳しく説明された。質疑応答では特別に質問はなく、第2号議案は原案通り承認された。

第3号議案 令和3年度予算案について

事務局から、資料3を用いて令和3年度予算案について説明があった。当年度の見通しから作成された予算案には、規程改定に伴う避難器具用ハッチ認定業務及び避難用ハッチ認証業務の価格改定を盛り込んだ予算が提示されたが、重盛理事より原材料の高騰による収益の悪化に伴い、価格改定について延期をするという提案がなされた。質疑応答では佐藤理事により認定業務の考え方の説明や、上田理事により改定に関する事前説明が事務局より十分に為されていたとの発言、前田監事より延期を前提にした予算案の修正の提案などがあり、最終的に多数決による裁決となり、4対3で第3号議案は原案通り承認された。

第4号議案 令和3年度全国避難設備工業会会長表彰者について

事務局から、資料4を用いて令和3年度全国避難設備工業会会長表彰者についての選考に関する説明があった。まず本年度は正会員より10名の推薦者があり、そのまま候補者としたこと、準会員より9名の推薦者があり、そのうち昨年度見送りとなった推薦者3名を優先して選考し、残る2名を社歴、年齢等を加味して選考した旨が説明され、第4号議案は原案通り議決された。

第5号議案 令和3年度総会・会長表彰式・懇親会について

事務局から、資料5を用いて令和3年度定時総会、会長表彰式及び表彰祝賀会・総会懇親会の開催について、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等の観点から定時総会は密にならないことを考慮した上で開催し、会長表彰式及び表彰祝賀会・総会懇親会については開催を中止したい旨の説明があった。他工業会等の動向も加味し、また全国消防機器協会の議決などを参考に意見が述べられた。これらの審議の結果、当工業会における会長表彰式及び表彰祝賀会・総会懇親会の開催については、中止とすることが議決された。

7. 報告事項

(1) 令和3年度全国消防機器協会会長表彰候補者推薦について

理事会に先行して行われた会長副会長会において、事務局提案の推薦者3名について推薦承認があった旨の報告が為された。

(2) 令和3年度消防関係業界功労者表彰候補者推薦について

前項と同じく会長副会長会において、事務局提案の推薦者2名について推薦承認があった旨の報告が為された。

報告事項についての質問、討議等を含め14時48分に全ての内容について終了した。

以上の決議を明確にするため代表理事及び監事において次の署名捺印をする。

令和3年3月27日
一般社団法人全国避難設備工業会
令和3年度第3回理事会に於いて

代表理事（会長）	<u>菊池 信</u>	㊟
監事	<u>前田 善衛</u>	㊟
監事	<u>小池 秀樹</u>	㊟